



豪雨災害発生後の 感染症にご注意を！

令和2年7月15日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和2年第28週分・7月6日～7月12日)

《インフォメーション》

●災害発生に伴う感染症について

被災地で注意すべき感染症（リスクを低～高で示す）

豪雨、台風や地震などの災害発生時には、衛生環境の悪化や被災者の疲労・不眠などの要因が重なり、右表に示すような様々な感染症の発生リスクが高まります。現在国内で流行している新型コロナウイルスが避難所に持ち込まれた場合には、感染が拡大する可能性があります。避難所への入所時には発熱、咳などの症状を確認し、症状がある場合には医療機関への受診が必要です。避難所では人と人の間隔を2mは空けること、マスクの着用、適切な手洗いや手指消毒に心がけ、密閉・密集・密接を避けることが重要です。また、避難所においては感染性胃腸炎や急性下痢症の発生するリスクも高まりますので、食事前の手指衛生も重要です。体調不良時には速やかに避難所管理者に報告するようにしましょう。

	地域・避難所で流行または多数発生する可能性 1. 低 2. 中 3. 高	公衆衛生上の重要性 1. 低 2. 中 3. 高	全体のリスク評価 1. 低 2. 中 3. 高
避難所の過密状態に伴う感染症			
新型コロナウイルス感染症	2	3	3
食品媒介性感染症			
感染性胃腸炎/急性下痢症 (ノロウイルス・黄色ブドウ球菌・カンピロバクター・病原性大腸菌等)	3	3	3
野外活動等で注意する感染症			
ダニ媒介感染症	2	2	2
レジオネラ症	2	2	2
破傷風	2	2	2

参考 <https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/RA/r2-7-03.pdf>

被災した際の野外活動等で注意すべき感染症にはダニ媒介感染症やレジオネラ症、破傷風などがあります。レジオネラ症はレジオネラ属菌に汚染された環境水や粉塵を吸入することで発症します。破傷風は土壌中に広く常在する破傷風菌が受傷部位から体内に侵入することで発症します。これらの感染症を防止するため、がれき撤去などの野外作業を行う際には、肌を露出しない服装で、手袋や厚底の靴、防塵マスクを着用し、虫よけスプレーを使用するようにしましょう。

《全数報告の感染症》

- 指定感染症 新型コロナウイルス感染症 2件 (①40歳代、男性 ②70歳代、女性)
- 二類感染症 結核 1件 (80歳代、男性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 3件 (①20歳代、女性、O157,VT型不明
②20歳代、女性、O型不明,VT2
③50歳代、男性、O157,VT2)
- 五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1件 (第27週診断分：70歳代、男性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	3.21 (↑)	2.90
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.83 (↓)	1.28
3位	突発性発しん	0.48 (↓)	0.69
4位	咽頭結膜熱	0.17 (↑)	0.10
5位	ヘルパンギーナ	0.14 (→)	0.14
6位	伝染性紅斑	0.07 (→)	0.07

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（令和2年第28週 令和2年7月6日～令和2年7月12日）

分類	疾患	今週報告分（第28週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
指定感染症	新型コロナウイルス感染症			2			2	6	5	19	7	193	230
二類感染症	結核				1		1	7	2	20	6	21	56
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症			1		2	3			6		8	14
四類感染症	E型肝炎							2					2
	A型肝炎							9				1	10
	デング熱											1	1
	レジオネラ症							1		8	1	6	16
五類感染症	アメーバ赤痢										1	2	3
	ウイルス性肝炎											1	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							1		3	1	3	8
	急性脳炎							2				1	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2		4	6
	後天性免疫不全症候群											1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症							1		2		5	8
	水痘（入院例）							1	2	2		2	7
	梅毒							2		3		10	15
	破傷風											2	2
	百日咳											24	26
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ			1			1	625	290	892	567	1,190
				0.08			0.02						
RSウイルス感染症								2	5	26	4	36	73
咽頭結膜熱		4		1			5	67	56	92	8	72	295
		1.00		0.13			0.17						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	3	7		11	24	103	171	1,067	161	1,287	2,789
		0.75	1.00	0.88		1.10	0.83						
感染性胃腸炎		16	11	12	1	53	93	694	405	514	239	1,474	3,326
		4.00	3.67	1.50	0.25	5.30	3.21						
水痘				1			1	29	30	51	16	90	216
				0.13			0.03						
手足口病								18	1	15	4	41	79
伝染性紅斑				1		1	2	9	26	30		160	225
				0.13		0.10	0.07						
突発性発しん			1	6	3	4	14	18	16	110	38	89	271
			0.33	0.75	0.75	0.40	0.48						
ヘルパンギーナ		1		1	1	1	4	41		9	2	5	57
	0.25		0.13	0.25	0.10	0.14							
流行性耳下腺炎					1	1		3	4	4	11	22	
					0.10	0.03							
流行性角結膜炎								5	8	2		15	
細菌性髄膜炎									1			1	
無菌性髄膜炎							1			1	5	7	
マイコプラズマ肺炎							1	6	16	16	9	48	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）									2	2		4	
インフルエンザによる入院患者（*）							42	5	28	74	53	202	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和元年第36週(9月2日)～の集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（令和2年6月分）

		6月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症					6	6	1	1	12		26	40
						1.50	0.60						
	性器ヘルペスウイルス感染症					6	6		3	1	4	20	28
						1.50	0.60						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	尖圭コンジローマ					1	1			1		4	5
						0.25	0.10						
	淋菌感染症					1	1			3		10	13
						0.25	0.10						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1		2	4	2	9	10	5	15	9	14	53
		1.00		2.00	4.00	2.00	1.80						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			1			1	1		6			7
				1.00			0.20						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。